

metal recycling navigation  
**MRNavi**

企業名・都道府県検索  
 所在地マップ  
 加工処理機械メーカー等  
 行政・関連団体  
 メーカー・商社  
 関連資料・データ  
 用語解説  
 トピックス

メール速報サービス

安心

株式会社 共和印刷

月曜日～金曜日更新  
 (祝日除く)

MicroSoft Internet Explorer 6.0  
 で動作確認しています。

**トピックス**

1月12日

**日本鉄リサイクル工業会が平成30年新年賀詞交歓会を開催 new!**  
 参加者は約430名

日本鉄リサイクル工業会(会長=鈴木徹スズク取締役)は10日、東京・茅場町の鉄鋼会館で「平成30年新年賀詞交歓会」を開催した。会員企業やメーカー・商社などから過去最多の約430名が参加した。

年頭挨拶に立った鈴木会長は2017年について「激動の年で出来事が多く、スクラップ業界についても予測がつかなかった年だった。中国の雑品に対する規制の動向により、モノの動きおよび値段が変わった」と振り返った。2018

年については「状況の良いこの時期に、中長期的な需要減・人口減について対策を取るべき。雑品の規制も、逆に商機のチャンスとしてとらえる必要がある。工業会としては『情報発信』『国際化』『人材育成』に力を入れる。また『社会との対話』を意識する」と語った。

来賓挨拶には経済産業省製造産業局金属課の坂元耕三金属技術室長と普通鋼電炉工業会の明賀孝仁会長(合同製鐵社長)が登壇。その後、今年6月7～9日開催の同工業会全国大会の説明を、中四国支部全国大会実行委員の平林実委員長(平林金属社長)が行った。続いて乾杯の挨拶を伊藤弘之工業会副会長(大成金属社長)が行い、歓談入りした。中締めは木谷謙介工業会副会長(シマブンコーポレーション社長)が音頭を取り、参加者の健勝を願って全員で三本締めを行った。



挨拶する鈴木徹会長

1月12日

**山原商会(宇部市)、重機を更新、生産性向上に注力 new!**

山原商会(本社=山口県宇部市、山原一紀社長)はこのほど重機を更新し、生産性向上に注力している。13年間使用していた油圧ショベルの老朽化によりで、新たに日立建機製油圧ショベルZAXIS200マグネット・グラップル仕様機を導入した。山原社長は「以前はグラップルだけだったが、マグネットとの併用が可能になったことで、用途に合わせて臨機応変に対応できるようになった。生産性を上げ、今後も地域に密着したリサイクルに貢献したい」と話す。また同社のプラントメンテナンス部ではコマツ建機販売製のミニショベル2機を追加導入し、設備増強を図った。

同社は鉄・非鉄スクラップの全般を扱うヤードディーラーで、月間取扱数量は約5,000ト(代納含む)を誇る。平成25年に本社ヤードのレイアウトをリニューアル、併せて油圧シャーを更新し、作業効率と加工処理能力を飛躍させた。さらに工場見学会の開催や地元のプロサッカーチームのスポンサーになるなど地域に根ざした活動を通じて幅広く活躍している。



新たに導入した  
 マグネット・グラップル仕様機

1月11日